

【研究のねらい】

食品加工残渣を飼料としてリサイクルし、テーブルミートとして商品価値の高い安全な豚肉を低コストで生産するため、パン粉加工過程で出るパンクズ、菓子製造過程で出るチョコフレーク等の菓子クズを主原料とした飼料を用い、豚肉の肉色の改善を目的とした肥育技術の検討を行いました。

【研究の成果】

食品加工残渣パンクズ 49%、チョコフレーク等の菓子クズ 49%、炭酸カルシウム 0.5%、第一リン酸カルシウム 0.5%、カボック 1%の割合で配合した飼料 (R 飼料区：パン・フレーク区) は、市販の肉豚肥育用配合飼料 (対照区) に比べて、増体日量はやや低かったものの豚肉は明るい色となり、商品価値が高いと考えられました (図1、図2、写真1)。

【成果の活用面・留意点】

- ①パンクズは豚肉色を明るく改善できますが、増体日量の低下に注意する必要があります。
- ②パンクズには様々な種類があり、品質、成分内容も異なるため、飼料として活用する前に成分を調査する必要があります。

